

木の良さを最大限に生かした 匠の技の本格木造住宅

木材へのこだわりから生まれた
自然の温もりあふれる住空間

古 民家風の平屋造りが懐かしい和の佇まいを感じさせるS邸。家づくりを任せた山内建匠の匠とは幼なじみの仲、というS主人。三代目を受け継ぐ腕の立つ大工であることは以前から知っており、家を建てるなら彼に、と決めていたのだそう。S一家が匠に伝えた家のイメージは、「平屋建てで廊下は作らず、リビングとすべての部屋が直接つながるつくり」。そうしてでき上がったのが、リビングを中心として、周囲にダイニング&キッチン、主寝室、子ども部屋を配

した間取り。玄関との行き来はどの部屋も必ずリビングを通るといったポイントだ。
S邸の最大のこだわりは、木の良さを生かした家づくり。木材の種類や特徴を熟知する匠から木の適材適所の提案を受け、各部位や空間に合った無垢材を使用。なかでもとりわけ目を引くのは、木目が美しい国産ケヤキの大黒柱。天井の梁に使った6mのヒノキ角材も貴重な逸品だ。年月を経ても味わいが増す、そんな素材の良さが、愛着の持てる住まいを生む。



右／高級感あふれる御影石の玄関土間。ホールは砂壁に無垢ヒノキの腰板床を張り、床はかば桜の無垢フローリングを使用。左／軒先の野地板や垂木をあえて見せ、漆喰壁のイメージで仕上げた古民家風のつくり。軒を支える3本の柱には、天然ヒノキの生節を使うというこだわりよう。



かば桜の無垢フローリングと綾織の畳敷きで仕上げたリビング。壁は調湿作用のある珪藻土塗りに、一部エコカラットを使用。明るい色合いの空間に、という希望に合った仕上がりに大満足。

> S邸Housing data

家族構成／夫婦＋子ども2人
竣工／2012年2月
構造／木造軸組工法
延床面積／126.28㎡(38.20坪)
土地／396㎡(約120坪)

設計・施工／山内建匠有限会社
☎0897-41-0755 企業情報→P000



木の温もりと、トップランナー基準をも満たした省エネルギー住宅。



1st Floor